HTK

2016年5月23日

各　　位

会社名　本多通信工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　　佐谷　紳一郎
（コード番号　6826　東証第一部）
問合せ先　　執行役員　　水野　修
（ＴＥＬ　０３－６８５３－５８００）

コーポレートガバナンスの運用状況のお知らせ

当社は、ステークホルダーの皆様から信頼と期待をいただける“よい会社”に向けて、最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組みます。

コーポレートガバナンス元年と言われる2015年度の主な活動は以下のとおりです。

記

I. コーポレートガバナンス基本方針および報告書を策定しました

15年5月にコーポレートガバナンス基本方針、7月には報告書を策定し、公表しました。また、進化に合わせ、逐次改定をしています。

II. 社外役員との意見交換会を設置しました

社外取締役、社外監査役の3名と代表取締役社長および常勤監査役をメンバーとし、率直な意見交換を定期的に実施しています。

III. 指名委員会、報酬委員会を設置しました

社外役員が過半を占める指名委員会/報酬委員会を設置し、今年度は取締役候補の審議、および取締役の報酬を審議しました。

また、指名委員会では、17年6月株主総会での社外取締役2名体制の実現に向けて、適任者の検討等を進めます。

IV. 取締役会の実効性評価を実施しました

より実効性の高い取締役会を目指して、全役員へのアンケートを実施しました。

その結果、オープンで活発な対話が実現されるなど、事業範囲･規模等に照らして相応の実効性が確保されていることが確認できました。

また、中長期視点の経営戦略の議論を深めること、取締役会メンバーの多様化および常勤役員の一層の研鑽が今後の課題として抽出できました。

今後も実効性の進化に向け､課題および実効性の評価方法の改善に取り組みます。

V. 役員報酬に中長期インセンティブ要素を組み入れました

当社の役員報酬は、固定報酬と業績連動賞与で構成していましたが、15 年 10 月に中長期インセンティブとして、有償ストックオプションを導入しました。
今後も引き続き、報酬体系の長短バランスの最適化を目指します。

VI. 上場株式の保有を見直しました

株式保有先企業との取引関係の変化などに鑑み、15 年 3 月末の簿価で 20 百万円相当の株式を売却しました。今後も年 1 回の頻度で、継続的に見直し、適切さを維持します。

VII. 投資家の皆様との積極的な対話を展開しています

オープンな株主総会、中核都市を加えた個人投資家向け会社説明会および機関投資家との個別ミーティングなど継続的、積極的な対話を展開しています。

以上